

H18, AUT

CMnavi

No. 18

(社)日本建設機械化協会

中国支部

## 新たな飛躍に向けた取り組み

支部長 中村 秀治



新年度を迎えるにあたって、協会としての新たな飛躍に向けた取り組みや組織運営に対する抱負を述べさせていただきます。

当協会も50数年を経て、わが国の建設技術の進展は目ざましく、とりわけ国産の建設機械は質・量ともに充実し、有数の建設機械輸出国となっており、これらは本協会の設立以来一貫した機械化施工の推進、技術開発などの取り組みが実を結んだものと存じます。

一方、近年の経済情勢は大変厳しい状況にあり、とりわけ建設業界を取り巻く環境はまことに厳しく、経済的な構造変化の中で、さまざまな課題を抱えております。

これからも、更なる新しい施工法の開発、施工の合理化を図るべく新技術の開発が重要であり、当協会の果す役割は大きいものと考えられますが、果たして会員にとって本当に魅力的な協会となり得ているかと考えた時、私はここでもう一度基本に戻るべきではないかと思っております。

当協会の現状と課題については、後で述べますように3つの課題があると私は自分なりに考えています。

現在、これらの課題の中で「会員に期待される事業の抽出」「継続学習制度」といったものは既に実施され、「組織体制と事業実施の効率化の推進」については、企画部会を中心に各部会の協力を得て、当支部の一層の発展と活性化のために「中期事業計画の策定」作業を進めてもらっております。

協会会員の皆様も風の変化が感じられるよう、産官学が一緒になって魅力ある協会と社会から評価されるような協会づくりをめざしてまいります。

## 現 状 と 課 題

### I. 支部運営について

1. 会員の減少傾向に歯止めがかからず、財政運営に課題
2. 時代のニーズに則した組織のスリム化、事業、管理費（事務局）の見直し
  - 1) 組織体制と事業実施の効率化の推進
  - 2) 会員に期待される事業の抽出、選択、実施
3. 本部・支部の連携強化のため、支部助成資金制度の創設

## Ⅱ. 会員にアピールする事業の取り組み

### 1. 建設の機械化施工優良技術者表彰制度

- 1) 各支部が実施している優良技術者表彰制度の基準の統一、権威化
- 2) 表彰者が所属する会員（会社）については、工事等に係る技術力評価制度において加点する等のインセンティブの付加

### 2. 意見交換会

発注官庁・評議員・顧問と支部幹部との意見交換会の開催も考えられるが、実施体制には本部主導が不可欠。

### 3. 土木施工管理技士にかかる継続学習制度（CPDS）、技術士にかかる継続学習制度（CPD）等の活用

上記制度等を、当協会で実施する講演会、講習会、発表会等の参加者に適用

## Ⅲ. 建設機械施工技士制度の見直し

合格者の有効活用（社会的地位向上）と受験者の資格取得意欲の向上に資する。

### 1. 制度活用の拡大

重機等による事故災害軽減対策推進を図るため、一定規模以上の工事に対して「安全施工管理技術者（仮称）」配置の義務付等を制度化して、施工技士の公的活用の充実拡大を図り、名称も「施工技士」でなく「施工管理技士」にする。

### 2. 施工技士受験者の試験に伴う負担の軽減

「実技」試験を「記述試験（例：機械化施工技術に関する経験記述）」に移行する。

### 3. 施工技士のアフターケア充実

- 1) 制度、施工技術等情報提供に向けた講習の実施（技士会の創設）
- 2) 生涯教育制度の拡充

## ■ 建設機械の排ガス対策

建設機械の年間NO<sub>x</sub>（窒素酸化物）及びPM（粒子状物質）の総排出量は自動車等移動排出源から排出される総量のうち、それぞれ18.8%、9.6%を占めており、排ガス対策の推進が求められています。

国土交通省では、平成3年度から「排出ガス対策型建設機械指定制度」を創設し、平成8年度から国土交通省直轄工事での排出ガス対策型建設機械の使用原則化の取り組み等を行ってきており、また、全国の都道府県および政令指定都市においても、83%の地方公共団体で同様の施策が取り組まれています。

また、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」が、平成17年通常国会で成立し、平成18年10月（予定）より施工されます。

これにより、公道を走行しないバックホウ、ブルドーザー、トラクターショベル、フォークリフト、農耕用トラクターなどの特定特殊自動車を対象に排出ガス規制が開始されます。

参 考 国土交通省 総合政策局 建設施工企画課 施工環境係作成の「建設機械の排出ガス対策」パンフレットを綴じ込んでおりますので参考にしてください。

当協会では実施する、講習会、発表会、研修会等は、技術士並びに土木施工管理技士にかかる継続研鑽・学習制度の学習プログラムとして、認定されるようになりました！！

### 技術士／継続研鑽制度（CPD）

（社）日本建設機械化協会中国支部は、（CPD）提供機関として、（社）日本技術士会中・四国支部と協議した結果、当協会中国支部が主催する講習会、発表会、研修会等は（CPD）提供機関として承認されました。

『技術士の資質の向上』を目指した

# 技術士CPD

Continuing Professional Development

CPD 平成13年 4月1日スタート

CPD 実務登録 平成14年 4月1日スタート

技術士は、3年間に150時間（実際に費やした時間に重みファクターを乗じた時間）のCPDを行うことが望ましいと考えられております。

また、APECエンジニア（アジア太平洋経済協力技術者）は更新期間の5年間に250時間のCPDが望まれます。

最近、プロポーザル業務において、管理技術者の評価点としてCPDの活用が九州地方整備局において試行されており、いずれは他の整備局、県等の業務発注にも活用されて来るものと思われまます。

### 土木施工管理／継続学習制度（CPDS）

（社）日本建設機械化協会中国支部は、全国土木施工管理技士会連合会に学習プログラム申請書を送り、同連合会のホームページに掲載され、学習プログラムとして認定されることになりました。

また、入札資格審査へのCPDSの活用は広島県はは先行的に進められております。

**き** **手** **続** **項**  
**目**

**注** **手** **続** **項**  
**評** **価**

## CPD採用が拡大

**新** **た** **に**  
**長** **崎** **、** **佐** **賀**  
**長** **野** **は** **個** **別** **工** **事** **で**

全国の公共発注機関で、全国土木施工管理技士会連合会の認定を受けたCPDプログラムの活用は、国交省が昨年9月にまとめた品目別入札資格審査の品目別CPD導入促進ガイドラインで、個別工事の入札資格審査へのCPDの活用も評価項目として例示された。CPDの活用は、04年3月からは九州地方整備局で、05年からは長崎、佐賀、福岡、熊本、大分、鹿児島、沖縄の各都道府県で導入された。06年度からは、佐賀県や国土交通省九州地方整備局の発注工事にも活用される。長崎県は06年度から、入札資格審査へのCPDの活用も開始した。

知、愛媛の各県で先行的に進んでいたが、さらに長崎、佐賀の両県にも広がる見通しだ。06年度からの導入を決めた長崎県では、主観点数項目の一つとしてCPDを採用。直近1年間に各企業が雇用する技術者が取得したCPDユニット数に応じた評価点を与える。07・08年度の資格審査から導入する佐賀県でも同様に、企業ごとの総CPDユニット数で技術評価を行う予定だ。CPDに関しては、全国土木施工管理技士会連合会や土木学会、日本技士会など11団体で協議会が設けられており、建設分野の技術者の能力の維持・向上に向けた支援体制が整備されている。利用しやすい環境が整ってきたこともあり、発注手続きの技術評価にCPDを活用する取り組みは、技術評価の重要性の高まりとあいまって、さらに加速しそうだ。

# 中国支部行事の紹介

## 4月以降の講習会等行事予定一覧

日時	行事名	内 容	備考
18年 6月5日	通常総会記念講演	演 題 超速ハイパーヒューマン技術が開く新世界 講 師 広島大学大学院工学研究科 教授 金子 真	会 員
18年 6月5日	第55回中国支部通常総会	平成17年度事業報告書及び同決算報告書 平成18年度事業計画案及び同収支予算案	会 員

注1. 当協会で開催する講習会、発表会、研修会等は、全国土木施工管理技士会連合会にかかる継続学習制度（CPDS）並びに日本技術士会にかかる継続学習制度（CPD）等の学習プログラムとしてほとんどが認定され、参加者の（CPDS）（CPD）への登録が可能になります。

## 11月から3月までの講習会等行事報告

### ■ 第20回「道路除雪講習会」の開催

11月22日倉吉市（伯耆しあわせの郷）において、道路除雪作業に携われる方々を対象に冬季道路交通確保、除雪作業の安全対策等に関する「道路除雪講習会」を開催し、参加者は61名でした。

- (1) 冬季道路交通確保と道路除雪計画
- (2) 路面凍結対策

講 師 (社)日本建設機械化協会東北支部  
建設機械部会員 阿 部 新 治

- (3) 除雪機械による道路除雪  
除雪機械と除雪工法

除雪機械の取扱い  
除雪作業の安全対策

講 師 (社)日本建設機械化協会東北支部  
建設機械部会員 山 田 一 彦



### ■ 第18回「わが社の新技術・新工法発表会」の開催

2月16日広島市（国際教育センター）において開催し、参加者は51名でした。

発 表 課 題                      発 表 者

- ① ソイルセメント地中連続壁工法      (株)間 組
- ② ジャッキ駆動偏心多軸シルト工法      大豊建設(株)
- ③ 環境配慮型遮水壁工法                  ライト工業(株)
- ④ ラテナビウォール工法                  清水建設(株)
- ⑤ 自然にやさしいFTマッドキラー工法      (株)フジタ



## ■ 第36回映画会「最近の機械化施工」の開催

1月19日広島市（国際教育センター）において開催し、参加者は59名でした。



- | 題 名                                 | 提 供             |
|-------------------------------------|-----------------|
| ①新北風に挑む<br>～那覇沈埋トンネル～               | 飛島建設（株）         |
| ②UD-HOMET                           | 大成建設（株）         |
| ③センターホールディング方式によるソルト<br>～広い立抗を確保する～ | 発進方法<br>佐藤工業（株） |
| ④全断面斜抗TBM（総集編）<br>～神流川発電所新設工事～      | （株）奥村組          |
| ⑤飛島の地下空間利用                          | 飛島建設（株）         |
| ⑥雪は利用出来るんだ                          | 利雪倶楽部           |
| ⑦暮らしを支える道路 ～雪国の暮らしと道路～              | テレビ新潟           |
| ⑧厳冬黒四ダムに挑む ～断崖絶壁の輸送作戦～              | NHKビデオ プロジェクトX  |

## ■ 建設工事の安全対策講習会の開催

3月9日広島市（広島商工会議所）において開催し、参加者は56名でした。

- (1) 建設工事事故防止のための重点対策  
国土交通省中国地方整備局企画部  
工事検査官 犬山 正
- (2) 建設機械施工安全技術指針の改定の概要  
（社）日本建設機械化協会  
技師長 藤野 健一
- (3) わく組足場先行手摺りユニット  
（社）仮設工業会第一種正会員  
光洋機械産業（株）  
技術部長 上野 弘太



## 時代のニーズを運ぶ

### 搬送機器、乗用機器の中国工業（株）

建設作業員

乗用リフトカー

仕様

- ・昇降延長 67m
- ・斜面勾配 32° 30'
- ・積載重量 750kg（定員 11名）
- ・昇降速度 50m/min



中国工業株式会社

本社事務所及び工場

〒737-0192 呉市広名田 1-3-1

鉄構輸送機事業部 TEL.0823-72-1967

FAX.0823-74-5926



ダム昇降設備

## 会員紹介 [株式会社 井 木 組]

所在地 [ 〒 689-2501 鳥取県東伯郡琴浦町大字赤碕2000番地1 ]

代表者 [ 井 木 久 博 ] 創 業 [大正元年11月1日] 会社設立 [昭和19年6月30日]

電 話 [0858-55-0811]

FAX [ 0858-55-7070 ]

URL [ <http://www.igigumi.co.jp> ]

E-mail [ [igigumi@igigumi.co.jp](mailto:igigumi@igigumi.co.jp) ]

経営理念 「社会の発展、社員の幸を願い、共生の理念のもと、企業の存続を図る。」



当社は、大正元年の創業以来、地域の皆様に愛され・喜ばれる企業を目指しています。

公共工事を中心に事業を行ってききましたが、近年は住宅（パナホーム、クレバリーホーム）、マンション（プレインマンション）も手掛けて、お客様の様々なニーズにえています。

### 営業種目

土木工事 建築工事 とび・土工工事 管工事 舗装工事  
浚渫工事業 内装仕上工事 造園工事 水道施設工事  
宅地建物取引 建築設計

本 社



株式会社 井 木 組

## 会員紹介 [株式会社 原 商]

所在地 [ 〒 699-0496 島根県松江市宍道町白石81-10 ]

代表者 [ 代表取締役 秀浦 淑晃 ] 創 業 [昭和37年11月1日] 会社設立 [昭和38年9月26日]

電 話 [ 0852-66-1113 ]

FAX [ 0852-66-1124 ]

URL [ <http://www.harasho.co.jp/> ]

E-mail [ ]

### 建設機械、建設資材、設備プラント等の販売・サービス・レンタル

弊社は昭和37年11月創立以来、建設関連事業を対象に建設機械、建設資材、設備プラント等の販売・サービス・レンタルを一貫して営む企業として地域の発展に貢献し今日まで歩んでまいりました。

さて、最近の経済環境はご承知の通り大きく変化してきております。弊社はこのような時代の変革に対応する為、[顧客第一主義]をこれからも貫き、[新商品の開拓]・[技術力の向上]・[スピード有る対応]を柱とし、お客様によりご満足頂ける企業を目指し、鋭意努力してまいります。

また、我が社の新規事業として、仮設足場の部門を立ち上げ、島根県と鳥取県で営業展開ならびに介護関係の仕事にも進出を致しております。

グループ会社である什器備品を扱う(株)サンテック、自動車の販売・修理・加工を扱う(株)ラビットのさらなる強化を致してまいります。

今後とも原商グループにより一層のご指導、お引き立てを賜りますようよろしくお願い申し上げます。



HARASHO 株式会社 原 商

## ■施工部会紹介

魅力ある事業を実施するため

支部からの押しつけ型から会員からの対話型に移します。

最近、中国支部においても会員数の減少が続き、それに伴い支部の財政を悪化させ、問題になっている状況であります。

このような状況の中で、施工部会が担当している主な業務は、会員と行政及び一般の方々を対象に、中国地方整備局から講師を招いて新技術の取り組みや建設行政を取巻く最近の話題、公共工事の安全対策等の演題で、会員の事業活動に役立つ講演会及び講習会の開催に努めております。

もう1つ主な事業は、会員を対象とした新技術活用現場研修会です。この研修会は、中国管内を対象に各工事現場で、新技術の内容や取り組み状況について習得する研修会を実施しています。

この講習会や現場研修会にかかる費用については、参加費は原則として、参加者負担とし、できる限り支部からの支出の軽減を図りたいと思います。

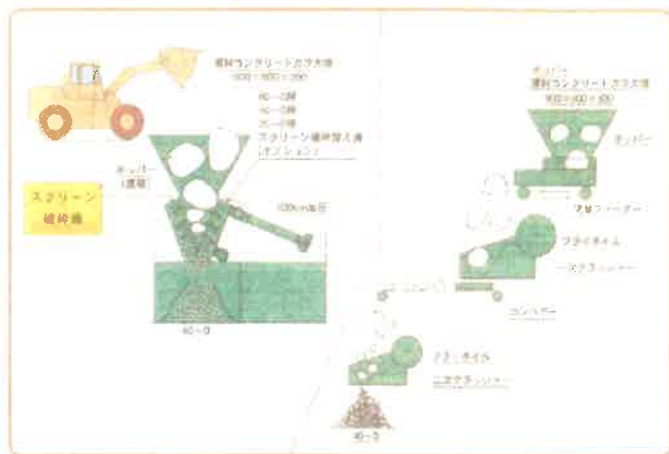
これらの主な事業の開催に当たっては、支部からの主導による押しつけ型から会員からの意見等が把握できる対話型に移し、個々の事業にアンケートを実施し、的確な会員ニーズの把握に努めてまいります。

今後は、私達も意識改革を行い、会員へのサービスを図りながら魅力ある事業の選択や実施し、会員の増大と財政の健全化を計るように取り組んでいますので、会員の皆様にもご協力をよろしくお願い致します。

施工部会長 昌子 宏

## 21世紀を生きのびるための —環境・資源・保護— リサイクル機

ワニコンク使用 ← コンナに填めます!! → 通常の砕石プラント



## ワニコンク



スバラシー発破砕原理  
**TAKARA**  
宝物産株式会社

- 本社 / 広島市西区商工センター5丁目3-2 TEL 082-278-0041
- 廿日市 / 広島県廿日市市串戸1丁目6-17 TEL 082-291-4351
- 防府 / 山口県防府市大字江泊1444-3 TEL 0835-38-4151
- 備後 / 広島県福山市今津町2189-1 TEL 0849-34-5701

一発で、80~0裏込め材・40~0再生路盤材を生産します

## ■建設の機械化に関心のある方は誰でも会員になれます。

(社)日本建設機械化協会は、建設事業の機械化を推進し、もって国土開発と経済発展に寄与することを目的として、昭和25年に設立され、東京の本部を中心に、全国8地区の支部と富士市にある施工技術総合研究所で構成した学術的調査研究を目的とする団体であります。

\*当協会は特許法第30条に基づく学術団体の指定を受けております。

### 会員になると次のようなメリットがあります。

- 国等が進める施策に関する情報が早く得られます。
- 講演会、講習会、研修会等を通じて技術力の向上が期待されます。
- 「わが社の新技術・新工法発表会」を通じて、発注官庁並びに同業者等の意見を聞くことができ、開発された技術の普及がはかられます。
- 「建設機械新機種・新工法発表会」(単独でも可)を要請により、随時開催されます。
- 本部機関誌「建設の施工企画」、支部機関誌「CMnavi」その他の技術資料が無料で配布されます。
- 建設機械損料算定表等の当協会出版図書が割引価格(会員価格)で購入できます。
- 会員会社を対象とした建設の機械化施工優良技術者表彰制度があります。
- 中国地方整備局等が主催するイベントに参加できる。



### 社団法人 日本建設機械化協会 中国支部

〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22 築地ビル402  
TEL(082)221-6841 FAX(082)221-6831  
メールアドレス jcma-chugoku@mx41.tiki.ne.jp  
<http://www.jcmanet.or.jp/chugoku/>

## ■新入会員紹介

入会年月日	会 員 名	代 表 者 氏 名
17年3月 8日	株式会社 ケー・テック	代表取締役社長 中村 勝次
17年4月15日	株式会社 鶴見製作所 中国支店	支店長 池田 恵 充
17年5月 1日	川田工業 株式会社 広島営業所	所 長 岩崎 謙 介

## ■ 編集後記

平成17年度の年度末を迎え、会員の皆様もご多忙な日々をお過ごしのことと思います。当支部としても平成17年度の講習会等の行事も予定どおり終了し、平成18年度に向けて皆様に喜ばれる行事を進めて参りたいと思っておりますので、引き続き会員の皆様のご協力とご指導を宜しくお願いいたします。

今号の券頭言は、昨年6月に中国支部支部長になられました中村秀治様から協会として新たな飛躍に向けた取り組みや組織運営に対する抱負をいただきました。

前号でも述べましたが、このCMnaviは、支部の活動状況、公共機関の施策などをお知らせするとともに、会員会社の活動状況などの紹介の場(会員紹介、会員のコマーシャル、新入会員紹介)とさせていただきますので、会員の皆様には大いに活用していただきたいと思います。

今回は、中国支部行事の紹介、建設機械の排出ガス対策、会員紹介、部会紹介、継続学習制度、新入会員紹介等をまとめてみました。

CMnavi 編集委員会